

公民館だより

No.130
2012. 11.15

ひがしの

人口 1779 人
(男) 864 人
(女) 915 人
世帯数戸
603 世帯
(H24.11.1 現在)



水墨画による

楽しい墨絵の会

西尾 芳 画

平成24年度

東野文化祭

好天に恵まれた、11月3日と4日に今年度の文化祭が開催されました。

今年も、絵画・書道・水墨画・写真・生け花・手芸作品など、東野の皆さんの作品およそ400点を展示させて頂きました。

屋外では、花などのバザー・つきたてのお餅とポンはざしの無料配布・木製品やおもしろい商品に錦鯉の販売もあり、多くの来場者で盛況でした。

東野住民の皆様、そして幼稚園・小学校の子どもさん達、大変素晴らしい作品を出品いただきありがとうございました。

また、会場準備から後方付けに渡り、お手伝い頂きました実行委員さん・振興会理事さん等、ありがとうございました。

振興会長さんによる餅付き



展示会場の様子



11月4日(日)ふれあい音楽祭

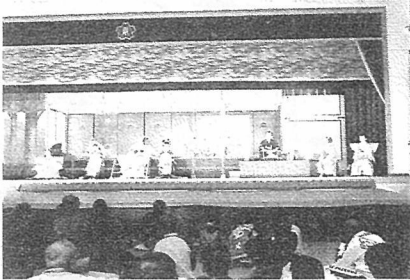
17回目となる音楽祭ですが、今年は加藤恵利子さん・宮崎智永さんによる男女のデュオに西濱由有さんのピアノ伴奏で、こころ癒す名曲の歌々を楽しみました。

東野小学校5・6年生とママさんコーラスも披露され、芸術の秋のひと時を素晴らしい歌声で満喫しました。



東野小学校の皆さん

東野小歌舞伎クラブ



10月28日(日)

東野小学校体育館で、東野の伝統ある歌舞伎公演が開催されました。歌舞伎保存会の皆さん・小学校歌舞伎クラブの公演に、お目見えだんまりなど、多くの来場者の方が伝統芸能を堪能されました。

文芸

○文化祭俳句会

・猪除けを大きく囲い人住めり 小椋 よ志江

・まんさくの紅葉の一葉つくばいに 市川 芳子

・店先に並ぶ鉢植冬日こし 内木 伊都子

・小夜更くる虫の音に書く返し文 西尾 美恵子

・櫓田や農を譲りし人も老い 松本 はるか

・豆干すや今年も使う古筵 千藤 恵三

○サークル短歌

・赤色のコンペイトウだけ探しおり 鈴木 喜一郎

・止まらない雨は無いと聞くけど 市川 茂子

・高齢者と差別ごとき呼称ありて 「八日目の蟬」のように生きる

・柿の木に鴉集まり食みおるを 追い払いつつ実を収穫す

・夕暮れの俄か雨止み花無の山に 二重の虹が架かれり 赤尾 賀夫

・猪の仕業と知りて立ち尽くす 芝捲られし高原広場

・荒れ畑と呼ばせぬように隠すように コスモスの花咲き乱れおり

平成24年度東野文化祭特別展

続「東野わがふるさと」
人々の暮らしと商い（思い出の商店）

特別展にて

特集させていただいた商店さん

喜久見屋さん・湯下屋さん
万場屋さん・依馬商店（かよさ）さん
かじ忠商会さん・渡辺商店（昭ちゃん）さん
かく万商店さん・古山商店（わたるさ）さん
藤井床屋さん・千藤京染店さん
西尾衣料品店さん・農協さん



特別展会場の様子

聞き書きさせて頂いた文章と共に、多くの皆様からお借りした「うちわ」「てめぐい」などを展示しました。

特別展におけるあどがき

調べさせて頂いた各商店の方、また思い出を聞かせて頂いた住民の方々に厚く御礼申し上げます。

お店の方からは、開業当時から現在に至るまでの商売上の様々な出来事等を寄稿して下さったり、話を伺いにおじやました時、貴重な時間をさいて話を聞かせて頂いたり、おかげ様で東野の商店さんと利用者の住民との間にいろんな絆があり、東野地域が歩んできた歴史が少しわかってきました。

商品を売るためのいろんな苦労や工夫、利用者に喜んでもらう催しなどがそれぞれの商店で聞かせていただけました。

子どもから大人まで住民も店の使い分けをしながら利用してきました。

盆や正月の特別な時は、どの店もお客さんに利用してもらったための、仕入れや宣伝に力を入れたり、常日頃は販売拡大のための取組みをしたり、随分努力して店の経営をしてこられました。

時代の流れの中で、世代交代があったり、転職や廃業があったりしましたが、確実に東野地域の経済活動を支えてこられたと思います。

地域住民の高齢化と若者の流出で、東野

も大きく変化してきました。自転車やカブや車での移動販売も無くなり、買い物に不自由を感じておられる方々も増えていきます。

「店へ行きやあ何でもあるが、そこまで行く事が困難な者（特に高齢者）には欲しい物が買える近くの店がのうなっちゃって困るよ」となげく声が聞こえてきます。

これも時代の流れでしかたが無いと認める事が出来ないのは、私だけでしょるか？

昭和になってから、東野には十五・六軒から二十軒近くの店があり、地域の生活、特に経済活動を支えて下さいました。

今は、その店数も減りさみしい限りですが、地域の発展に力ぞえをして下さった商店の方々に感謝申し上げます。

また、特別展開催にあたり、うちわ・てめぐい等をお貸し頂きました多くの皆様ありがとうございます。

東野文化祭「特別展」担当委員

今回の特別展開催にあたり、多くの商店関係者の方、また多くの住民の皆様に関心書きさせて頂きました。

なお、今回の記録を、次回の公民館たよりに特別編集として掲載の予定です。

地域の話題・行事

東野住民ふれあい体育祭

10月21日(日) 雲ひとつ無い秋晴れのもと、盛大に開催されました。

昨年が前日の大雨の影響で中止となり、2年ぶりの開催となったこともあって、例年に無い多くの住民の方が参加、綱引きやムカデ競争等に熱戦が繰り広げられました。ひやひやりレーや打上回収など会場を沸かす競技、昼食時のアトラクションもあり、東野住民が一体となった体育祭となりました。

運営にあたられた自治連合会・体協・振興会の皆さん、それにご協力いただいた東野小学校の皆さんご苦労様でした。



東野小学校・幼稚園運動会

9月29日(土)

「全力・協力・努力」をスローガンに小学生82名と幼稚園児28名による運動会が開催されました。

子供達が、真剣になって日頃の練習の成果を披露してくれる様子に感動を覚えしました。特に5・6年生の組み立て体操は、単に練習の成果だけでなく、全員がこころが一つになった素晴らしい出来栄でした。



東野小学校収穫祭
11月10日(土)行なわれました。開会式では、学年代表の児童がお世話になった方たちに感謝の言葉を発表。引き続き子供達が、丹精込めて収穫したお米・豆・サツマイモを使い、お握り・トン汁・いもようかんを来賓・保護者と一緒においしくほおばりました。

5・6年生による

組み立て体操2012



みのりのみのり祭り

9月22日(土)・23日(日)の両日に開催されました。東野からは、自治連の皆さんとふれんどりーさんが五平もち・地元産の米・野菜などを販売されました。

また、白坂の皆さんがみこし競演に出場されました。



白坂のみこし



敬老会

9月17日(祝)

開発振興会主催にて敬老会が開催されました。

120名余りの参加があり、尺八と琴の演奏に踊りなどのアトラクションを楽しめました。



東野体協コーナー

○第39回東野住民ソフトボール大会

日時 11月4日(日) 午前8時開会式
場所 東野小学校グラウンド



昨年度は雨天によるグラウンドコンディション不良のため中止となりましたが、本年度は快晴の秋空の下で65名の参加を得て開催いたしました。今回も、地域の交流を目的に前年の分団成績を考慮して二つの分団を合わせてチーム編成しました。なお、1試合の時間は50分間としました。多くの小学生も参加して素晴らしいプレーを見せてくれました。

結果は次のとおりです。

優勝 2分団
と3分団下
準優勝 1分団
と3分団上
3位 6分団と
4分団
4位 5分団と
7分団

○東ノ(東野)ルディックウォーキング講習会

12月8日(土) 午前8時30分から受付開始

健康のためスポーツをする方は年々増えていますが、地域住民の高齢化や個人の趣向の多様化などで、チームスポーツを中心としてきた住民大会の参加人数も毎年減少傾向にあります。そこで、東野体育協会では住民の方々にいろいろなスポーツ、個人でも取り組めるスポーツを紹介したいと昨年度「ノルディックウォーキング」の講習会を東野まちづくり委員会教育文化部会を主催者として東雲連合会と共催して多くの参加者を得て実施いたしました。また来年も実施してほしいの要望もあり、本年度も取り組むことといたしました。

スポーツは基礎が大事、初めの取り組み方でも今後続けられるのが決まってきます。

ノルディックウォーキングは、もともと冬のスポーツであるノルディックスキー(クロスカントリースキー)のオフシーズンのトレーニング用に取り組みされたのが始まりといわれています。主にノルディックスキーの本場である北欧で盛んに行われていました。トレーニング用ですから歩くだけでなく野山を駆け上ったり、走ったりする過酷なトレーニングとして開発されました。

しかし、近年ポールを持って歩くことの身体的効果が研究され、1997年正式に「ノルディックウォーキング」という言葉で定義された

エクササイズが紹介されました。その後、世界40カ国以上で普及しています。恵那市でも最近、公園や街角をポールを持って歩く人を見かけるようになりました。体育協会では新しいスポーツとして講習会を開催します。

つきましては、多くの方の参加をお待ちしています。道具がなくても結構です。気軽に参加してください。最後に、ノルディックウォーキングの効果を健康への提案として紹介します。

○健康への提案(ノルディックウォーキングの効果)

1. 通常のウォーキングより心拍数が約13%上昇する。
2. ポールを使用する事によって、エネルギー消費量が通常のウォーキングに比べ、平均20%上昇する。
3. 首、肩にかけての痛みやこりを解消する。
4. 首から背中にかけての横方向の柔軟性が向上する。
5. エネルギー消費量が、46%にも上昇したという研究データがある。もともと活動する筋肉として、伸縮する上腕筋、肩甲骨周辺の筋肉、大胸筋、広背筋があげられる。
6. 一時間あたり400キロカロリーを消費する。(通常のウォーキングでは280キロカロリーの消費)
7. 滑りやすい地面では、ポールが杖となり非常に安全。
8. ペースを一定に保ち、心拍数を120~150拍分に維持するようにしましょう。体力差、運動習慣にもよりますが、30分から2時間程度の運動を心がけましょう。ペースを一定に保ち、心拍数を120~150拍分に維持するようにします。

市民三学東野委員会

9月26日(水)三学委員会主催にて、「東山道」西の要所を訪ねる旅を実施。32名の方に参加頂き、美濃国分寺跡・不破の関・岐阜県博物館などを視察研修しました。

過去に、日本の東部の分岐点として戦の場となった地にて、歴史を勉強し参加者それぞれが、新たな知識を得ることが出来ました。

10月11日(木)小説「山道」の勉強会を行いました。今回は、ゲストに伊藤延秀さん・三宅昭英さんをお招きし、20名ほどの参加者と共に、小説の読み合わせとゲストのお二人から開墾記念碑設立当時の苦勞話等をお聴きしました。

小説「山道」は、東野村民の生活基盤を築いて頂いた「保古の湖の灌漑工事」の様子を、実話に基づき小説化されたものです。

勉強会は11月22日(木)・12月13日(木)にも開催します。ご参加をお待ちしております。

視察研修・美濃国分寺



小説「山道」勉強会



市民山道東野塾

「東野村白坂地区開拓史」山道に学ぶに参加して

私は、歴史の本を読み、あるいは歴史の話を聞く時、いつも「なぜ、なにをした」という事実(結果)より以上に、その時代の社会的状況やそこで生活している一般の人々がどのような思いで生きていたか(背景)を知り、あるいは自分勝手な想像も交えて、思いめぐらし、その時代のその地域の情景やそこで暮らす人たちのことを、頭のなかで再現することを楽しみにしている。

3・4年前に東野を題材にした小説があることを知り、お願いして貸していただいた。それが「山道」であった。

その内容は、大正5年ごろに話がもちあがり、昭和10年ごろ完成する、20年間ほどにわたる、白坂地区の新田開墾とそのための導水路・保古山ため池の計画から完成までの経緯やその工事内容、それに間の地域の社会状況と人々の多様な思いを描いたものだ。

大正から昭和初期にかけての東野の社会状況や人々の思いがつぶさに書かれており、当時の東野を想像でき、たいへん興味をもち、さらに、出来ればこのことにくわしい人々に話を聞きたいとも思っていた。が、なかなかその機会もなかった。が、

市広報の折込チラシで、三学東野塾が、小説「山道」を読み合わせ、当時を知る方々をお招きし、いろいろな話を聞く内容での「東野村白坂地区開拓史」「山道に学ぶ」会を開催することを知り、すぐに、参加の申し込みをした。

1回目の会は、10月11日、東野「ミニミニセンター」で開催。内容は、ゲストのお話と小説の読み合わせ。

ゲストのお話は、伊藤延秀さんと三宅昭英さんから、昭和24年に東野村青年団の中心団員として「開墾記念碑」建立にたずさわられた時の建立計画の経緯、資金の調達、その施工のことをお聴きした。

昭和24年といえは、太平洋戦争敗戦後の混乱期、青年団員の方々が、記念碑の大きな石をそりにのせ麓から、幾重にも曲がりくねった細い道を、みんなで力をあわせ運び上げた話など、元気のいい青年団の掛け声が、敗戦で沈みこん

だ当時の雰囲気を知るべく、その後の希望・発展につながる響きであったと思います。

小説「山道」の読み合わせは、三浦忠信さんに朗読していただき参加者は、活字を目で追った。

なにせ、この本は、昭和19年に出版されたもの、いまは、もうろく販売されていない。それを、「ミニミニセンター」林さんが苦勞され、入手し、230ページを「コピー」していただいたもの。当時のものとしては活字は鮮明であるが、なにせ、旧かな使いと今では一般に使われていない漢字。なかなかスムーズに読み進めない私には、三浦さんの朗読はおおいにありがたい。

小説「山道」に記述された当時の東野の社会状況や工事内容等は、東野の伊藤正さんの書かれた資料によるとのこととで、事実に基づいていると思われる。また、登場人物(名前)は一部変えてはあるが(も実在した人がほとんどで、実話に近いように思われるが、やはり小説、中心人物の誇張などのため、責任ある立場で事業を慎重に進めたい者あるいは批判的な者の行為に創作部分もあろう。

こんなことから、登場人物の一人一人を実在した人物にあてはめ、つい、いつもの私の勝手な想像により、その行為をうんぬんすることは、誤解が生じそうです。慎重ななければならない、と覚悟しています。このことから、当時のことに詳しくいゲストの方の話や、今回のこの会の参加者20名ほどの中には登場人物のご家族の方も見受けられるようですので、それの方々から大正から昭和初期の白坂地区の農地開拓歩開拓史にくわえ、東野の主要産業であった養蚕・養蠶(こ)や農地所有(地主・小作)のことなども含めお聞きし、また、いただいた小説「山道」を熟読し、当時の東野村のようすを一層よく理解したい。

この会は、始まったばかり、11月・12月も開催される。朗読も、まだ、話の導入部分。今後が、おおいに楽しみです。

まちづくり委員会ニュース

☆福祉部会より

恵那市地域包括支援センターとの共催で「認知症講演会」を開催します。

認知症は、だれでも発症する恐れのある病気です。症状について正しく理解し、予防するためにはどうしたら良いのか、一緒に考えてみませんか？

参加費・申し込みは不要ですので、皆さん是非ご参加下さい。

- ・開催日時 平成24年12月1日(土) 午後1時30分より
- ・開催場所 東野コミュニティセンター
- ・講師 認知症サポート医 小川恵一先生

☆環境美化部会より

10月20日(土)に、下橋戸橋周辺の飯沼川河川内で、「飯沼川を通じて郷土愛を育てる会」による清掃作業が行なわれました。当日は秋晴れの中、約20名の方が草刈等の作業に汗を流していただき、川も大変きれいになりました。

10月30日(火)に、東雲連合会による花壇の植替えを行ないました。万場つつみ跡の入り口と農協裏の2箇所に、約400本のパンジーが花を咲かせていますので、皆さん是非お楽しみ下さい。

☆教育文化部会より

9月30日(日)に、《東野マツCコースを歩こう》としてウォーキングを行ないました。

台風接近の中、なんとかお昼までに回ることが出来、「東野に永年住んでいてもこないいいところがあったなんてしらなかった」という声もあり、参加者は初秋のさわやかな風を受けながら楽しく歩きました。

向島の阿弥陀堂前にて



☆産業振興部会より

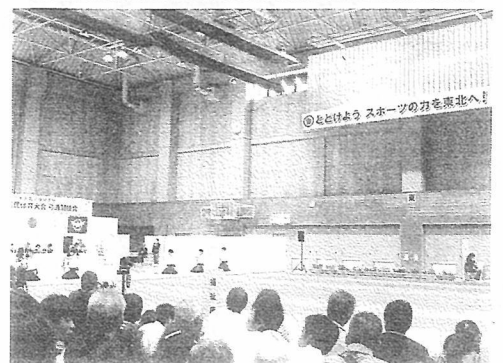
10月6日～9日の4日間、横ヶ根公園において「ぎふ清流国体」弓道大会が開催され、ふれんどーの店が、6日～8日の3日間出店しました。

味ご飯や揚げもち、にんにく製品を販売しましたが、たくさんの来場者で、味ご飯や栗ご飯はすぐに売り切れたそうです。

また、11月11日(日)に、阿木川ダム湖周辺にて「ふれんどー秋祭り」を開催されました。

※国体弓道競技会期間中は、多くの東野住民の方に観戦頂きありがとうございました。

清流国体弓道大会
近的競技会場の様子

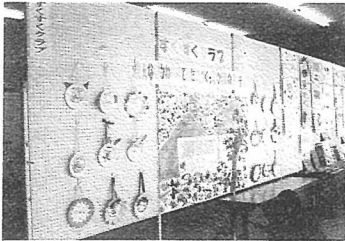


すくすくクラブ(乳幼児学級)

0歳から3歳までの乳幼児と親さん17組が、毎月東野コミュニティセンターにて交流を図っています。

12月21日(金)には、クリスマス会を開催します。小さなお子さんをお持ちの方、是非ご参加下さい。

文化祭に作品を出しました。



抹茶茶碗を頂きました。

この度、文化祭の抹茶コーナーで使用する抹茶茶碗が足りなく、実行委員の知人である長島町久須見の安田昌治さんをお願いしたところ、抹茶茶碗10個を快く寄贈していただきました。

安田さんは、数十年前から高校教師の傍ら陶器作りを始められ、退職後の今では本格的に取り組まれていて、その作品は高く評価されています。

いただいた茶碗は、今後のコミュニティセンターの事業などで大切にに使わせていただきます。



いただいた抹茶茶碗
ありがとうございました。

公民館よりお知らせ

当面の行事予定

- 月18日(日) 市長選・市議会議員選
- 11月22日(木) 第2回「山道」勉強会
- 11月25日(日) 小学校資源回収
- 12月 1日(土) 認知症講演会
- 12月 8日(土) ハルティックウォーキング
- 12月13日(木) 第3回「山道」勉強会
- 12月15日(土) 「ネットの危険性について」の講演会
- 1月10日(金) 書初め展
- 1月27日(日) 岐阜県知事選

公民館より休館日のお知らせ

11月 5. 6. 12. 18. 19. 25. 26
12月 3. 10. 17. 24. 28. 29. 30. 31
1月 1. 2. 3. 7. 15. 16. 21. 27. 28
都合により変更となる場合もあります。
そのときは、コミュニティセンター入り口に掲示します。

公民館だよりによせて

早いもので、今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。4月に公民館長を拝命し、いつしか8ヶ月が経過。不慣れな事ばかりで、皆様にはご迷惑をおかけしたことを思います。皆様の協力とご支援のおかげで、特に大過なくやってこられました。特に、公民館行事で一番大きなイベントである「文化祭」も無事終わる事が出来、ほっと安心です。

今年も東野地域の3大行事である「納涼夏祭り」・「住民運動会」・「文化祭」それに「ほたる祭り」・「小学校の運動会に収穫祭」などが開催されました。昨年は、天候不順などで中止された行事が多くありましたが、今年は天候に恵まれ順調に開催出来て良かったと思います。

さて、今年の文化祭特別展で「続「東野わがふるさと」人々の暮らしと商い(思い出の商店)として、主に昭和30年代から40年代に架けて東野住民の生活を支えてくださった商店さんの特集させていただきました。準備にあたり、商店の方には当時の苦労話などを、利用者だった方には思い出をお聴かせいただきました。聞き書きをしながら、自分自身も子どもの頃の楽しかった時代を思い出すと共に、記録として後世に残して行かなければと思いました。

12月は、陰暦(いんれき)にて師走です。

今年の最終号なので、今回は陰暦の由来を記載します。

☆一月 睦月：「睦み月(むつきつき)」、新年を親しい人達と親しみ睦み合うという意味

☆二月 如月：暖かくなったというものの、それゆえに感じるうすら寒さのために服を更に着るので「衣更着」

☆三月 弥生：「風雨改まりて、草木いよいよ生ふるゆえに、いやおひ月といふを謝まれり」が始めに書いた弥生です。

☆四月 卯月：卯の花の咲く月。一説には稲を植える「植月」も

☆五月 皐月：「五苗月」、「早苗月」の略等との諸説がありますが、早苗月が陰当と言われています。

☆六月 水無月：新暦の7月に相当し、例年水不足がささやかれ始める月

☆七月 文月：語源は「穂含月」、「穂見月」ですが、一般には「文被月」とされています。

☆八月 葉月：由来説はいろいろあり「木の葉の落ちる月」や「葉落ち月」、「雁が始めてくるので初月、または初来」などがある。

☆九月 長月：語源は夜が長くなるので「夜長月」。もう一つは雨が長く降るので「長雨月」

☆十月 神無月：俗説に諸国の神様が出雲に集まり不在になるので神無月。

☆十一月 霜月：霜降りの月です。陽暦では大体12月上旬から1月上旬に相当。

☆十二月 師走：今では混同して陽暦の12月に用いられています。

師(僧侶)が忙しく走り回るところから派生したとされます。別説に一年の終わりの「為果つ月(しはつつき)」とも言われています。